

カフェで寺子屋

子どもの学習無料サポート

地域の子どもたちの自学自習をサポートする無料の取り組み「寺子屋べいす」が16日、福島市大町のカフェ「Vase & Stay & Lounge」で始まった。各地のカフェを借り、寺子屋を開いているNPO法人「Cafe de 寺子屋」の福島支部が運営する。6都県9カ所目で、東北地方での開設は初めて。

団体は47都道府県に寺子屋を作ろうと、2018年に山梨県で取り組みを始めた。大学生がボランティアスタッフとなり、寺子屋の運営や子どもたちの指導役を担う。福島支部では、福島大と福島学院大の学生計8人で活動している。学校の宿題など勉強の支援だ

けでなく、本を読んだり、学生スタッフとの対話を通して多様な学びに触れたり、学ぶことの楽しさを共有したりすることを目的としている。支部代表で福島大2年の嶋崎絢さん(20)は、ツ

ィッターで団体の活動を知り、「福島でも子どもたちが心地よく学べる環境を作りたい」と開設に協力した。16日は市内の小中学生が集まり、算数や漢字などの宿題に取り組んだり、スタッフに質

問したりしていた。子ども2人が参加した福島市の会社員、篠原沙祐里さん(36)は「年の近いお兄さんお姉さんに教えてもらえるのはありがたい。学校や家と違った環境で勉強するのはいい気分転換になるのではないかと利点を話した。」

嶋崎さんは「学校の先生や家族に話しにくいことも、年の近い大学生になら相談しやすいと思う。予約不要で無料なので、気が向いた時にふらっと立ち寄れるような居心地のいい場所にしていきたい」と意気込みを語った。

寺子屋べいすは、原則木曜午後6～8時。対象は小学1年～高校3年。問い合わせは団体のメール (info@cafe-de-terakoya.or.jp) で受け付けている。



「寺子屋べいす」で算数の勉強をする子どもたち
—福島市大町で

学生スタッフ「心地いい場所に」